

サンアクタースクリーン

取扱説明書

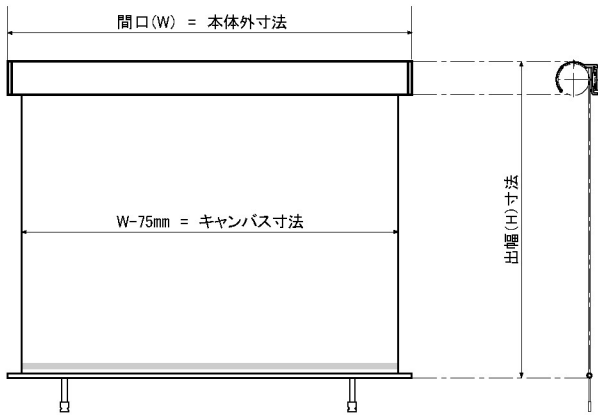
⚠ 注意事項

- 長時間使用しない場合には、危険ですので、手摺から取付ベルトを外しておいて下さい。
- 「風速10m以上」の風のある日（木の葉が揺れるぐらい）、雨及び雪の日には絶対に使用しないで下さい。スクリーンが強風にあおられると取付ベルトの破損につながります。
- スクリーンは真っ直ぐに巻き取って下さい。斜めになると途中で止まる事があります。また、ボトムバーが完全に収納されない時は、一度スクリーンを引き出して巻き取り、手でボトムバーを押し上げて収納して下さい。
- スクリーンが雨等で濡れた場合は、完全に乾いてから巻き取るようにして下さい。濡れたままで巻き取ると、ロールスクリーンの中の金具が錆びます。
- ロールスクリーン本体にはメッシュスクリーン・巻取りバネが組込まれていますので絶対に分解したりしないで下さい。商品の破損の原因になります。
- ロールスクリーン本体は、取付けの際に建物の構造、下地などをしっかり確認していただき、取付けをおこなってください。構造、下地がわからないまま取付けると建物の破損の原因になります。
- スクリーンを引き出す時及び巻き取る際には、近くに人が居ない事を確認し、急に手を離さず、なるべく中央を持ってゆっくりと操作するようにして下さい。人に当たるとケガをするので危険です。また商品とサッシの破損にもつながります。
- スクリーンの上に物を置いたり、ロールスクリーン本体に物をぶら下げたりしないで下さい。落下・破損の恐れがあります。

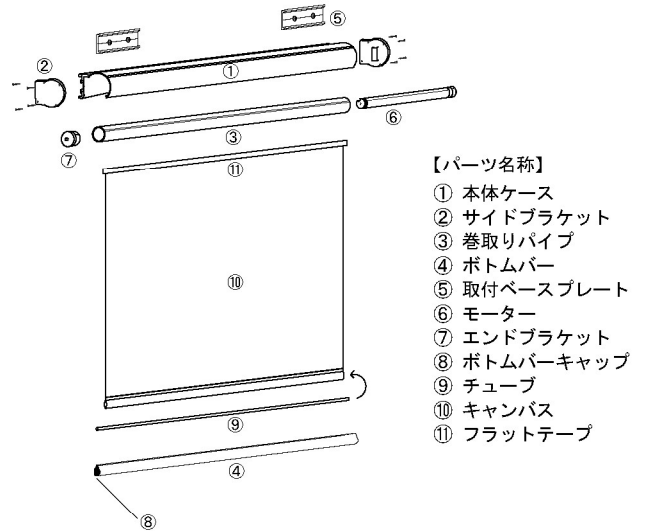
製造元：ゴトー工業株式会社

製品仕様

■ 生地加工寸法

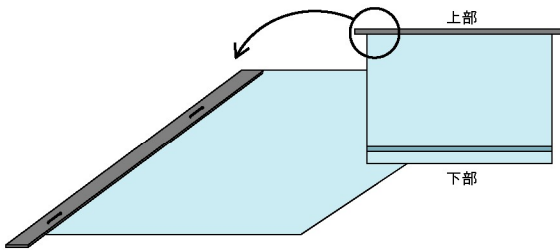


■ 製品見取図

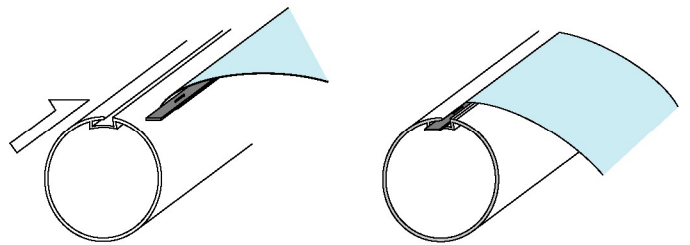


組立方法

1. 巻取りパイプに生地を取付ける

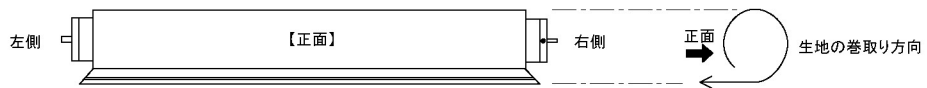


生地の上部にフラットテープを貼り付け、ホチキスで固定します。(固定したホチキスをハンマーで潰しておく、次の作業がスムーズです。)



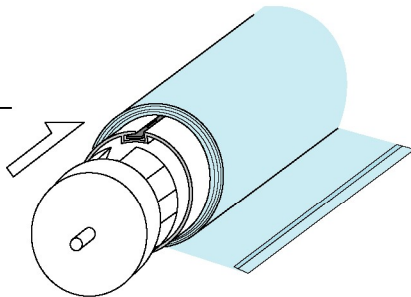
フラットテープを折り返して、巻取りパイプの溝に合わせて、片側よりスライドし、固定します。生地を中央に配置した後、巻取りパイプに巻きます。

2. 巻取りパイプにバネとエンドキャップを取付ける



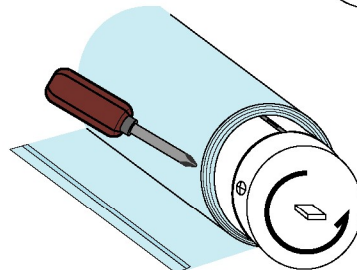
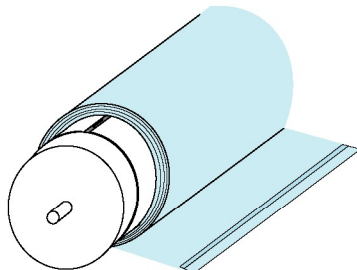
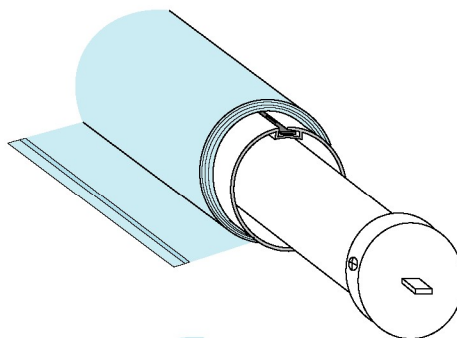
【左側】

丸軸を取付けます。溝に合わせて、ハンマーで打ち込みます。



【右側】

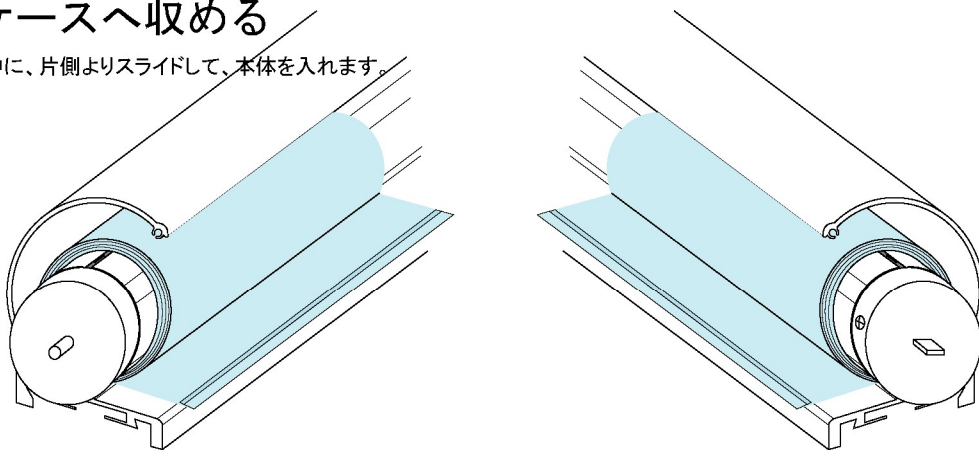
バネを取付けます。溝に合わせて、手で差し込みます。



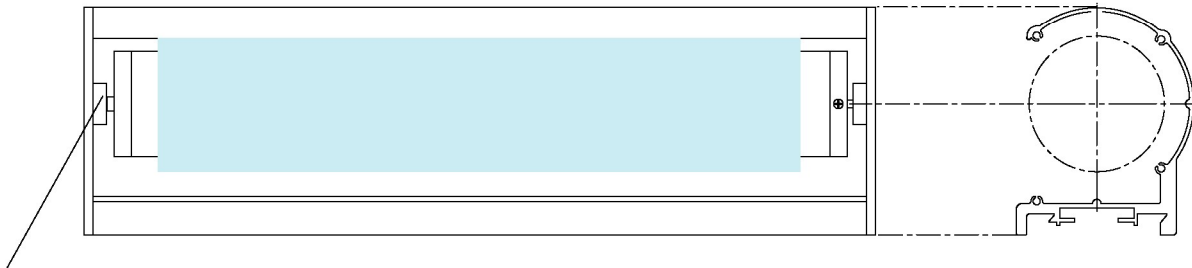
バネは、反時計回りに回転させる事で、巻き上げます。生地重量により異なりますが、5~7回転程度です。角軸の横にあるネジを締め、バネをロックします。

3. 本体ケースへ収める

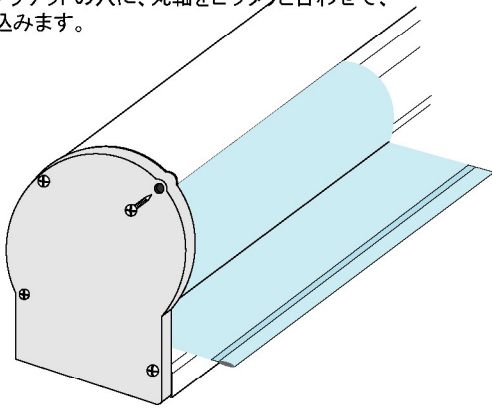
本体ケースの中に、片側よりスライドして、本体を入れます。



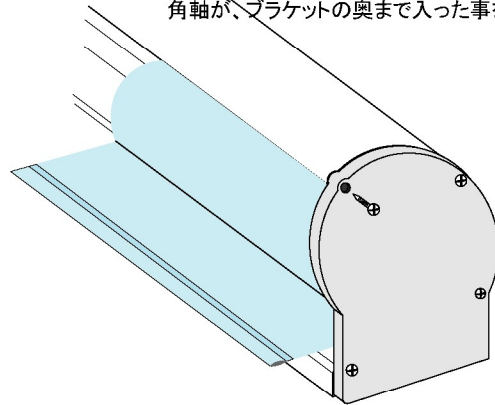
4. サイドブラケットの固定



正面左側のサイドブラケットを、初めにネジで固定します。
この時に、ブラケットの穴に、丸軸をピッタリと合わせて、
奥まで差し込みます。

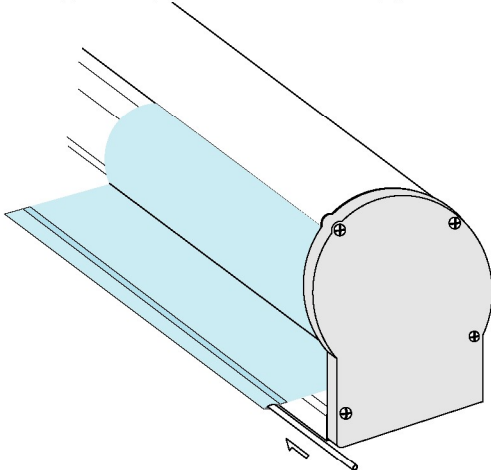


次にバネ側のサイドブラケットをネジで固定します。
角軸が、ブラケットの奥まで入った事を確認します。

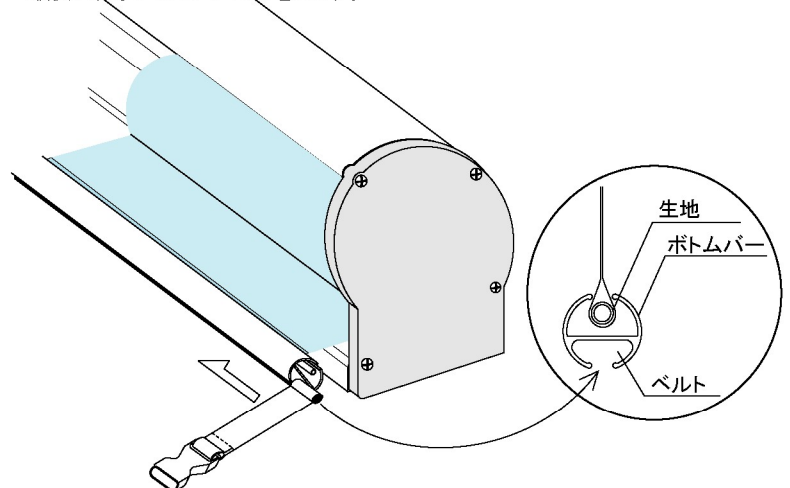


5. ボトムバーの取付け

PPチューブを生地下部のポケットに差し込みます。



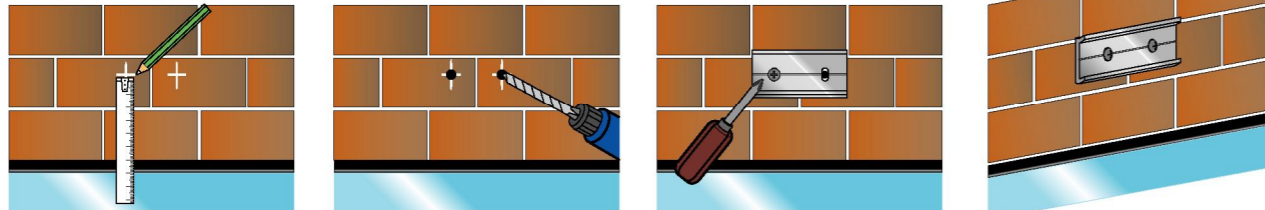
ボトムバーの広い空間の側に、生地をスライドして入れます。
狭い側には、取付けベルト(バックルのメス側)を2本入れます。
最後に、両サイドのキャップをします。



取付方法

1. 取付ベースプレートの取付け

【コンクリートの場合】



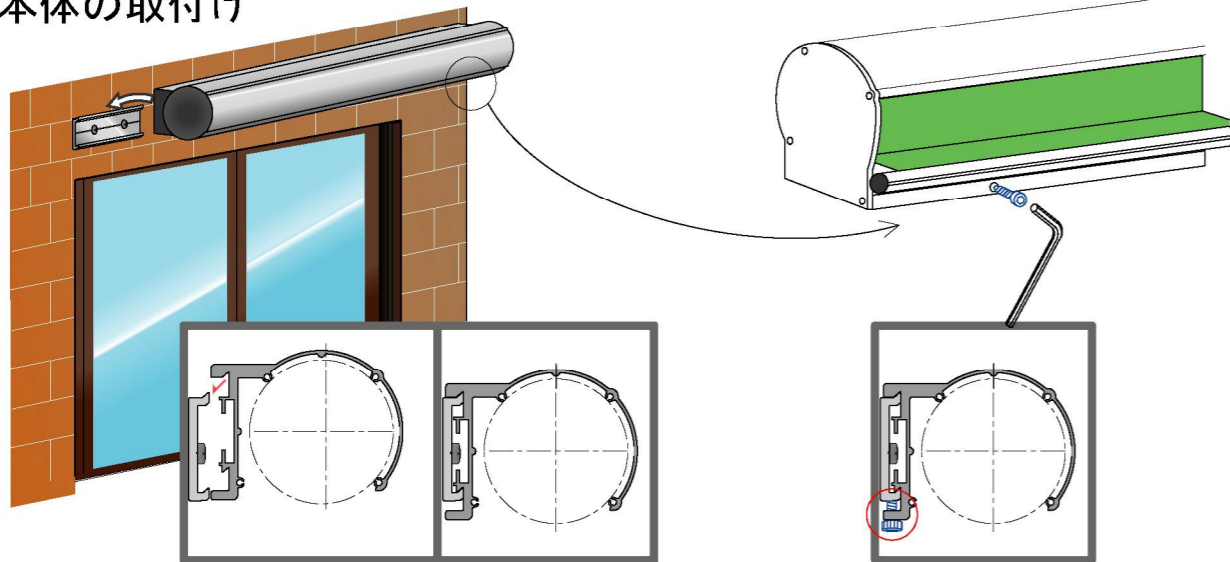
- ①取付位置に印を付けます。
- ②振動ドリルで穴を開けます。
- ③カールプラグ+ビス(M6程度)で固定します。
- ④ブラケットの取付完了

【壁面材質】

- コンクリートの場合… ボルトアンカーM6～M8 ・ カールプラグ+タッピングビスM5～M6
 ALCの場合 … カールプラグ+タッピングビスM5～M6
 木造の場合 … コーチボルトまたはタッピングビスM6～M8

※下地が不十分な場合は、製品W寸法と同じ長さのベースプレートを使用して取付ビスの本数を増やす、もしくは、十分な下地加工を施した上で、製品の取付けを行って下さい。

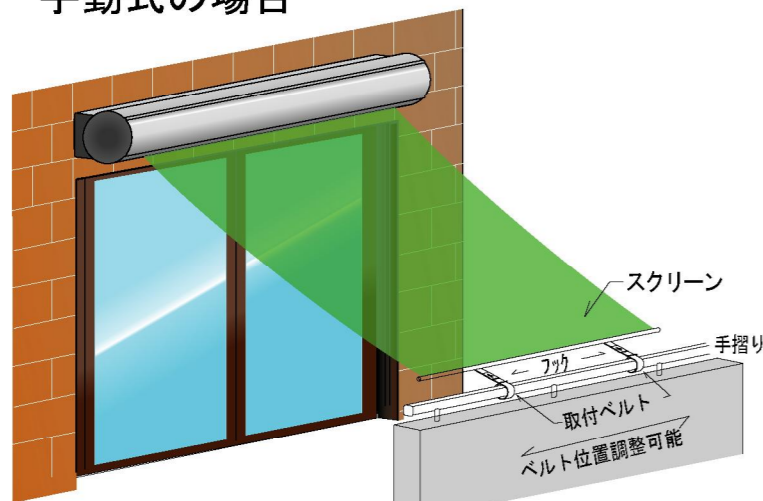
2. 本体の取付け



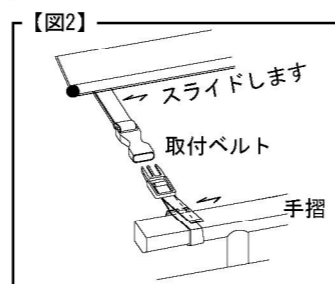
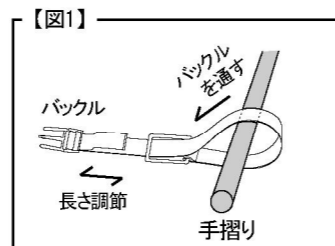
- ①ベースプレートの凸部に、本体ケースの溝を引っ掛ける様にして、本体を乗せます。この時に、上下の2ヶ所のツメと溝が、しっかりと乗る事を確認して下さい。(側面、上部より隙間を覗くと確認し易いです)

- ②本体ケース下部にあるネジを、左右2カ所締めます。ベースプレートの位置とネジの位置が合わない場合は、タッピングビスM4で固定して下さい。

3-1. 手動式の場合

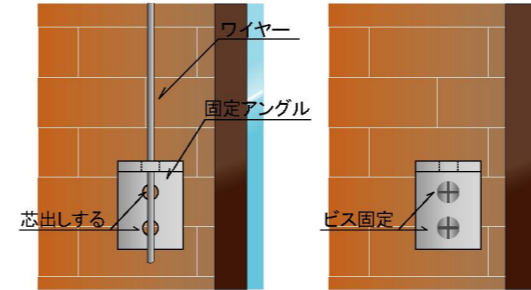


- ①取付ベルトの雄側を手摺りに巻き付けます【図1参照】。ボトムバーのバックルと固定して取付完成です【図2参照】。

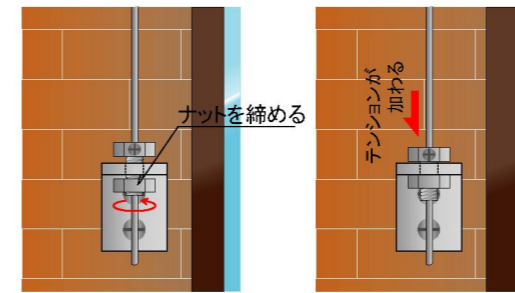


3-2. 電動式の場合

【ワイヤーの固定】



- ①本体からワイヤーを垂直に降ろし、【固定アングル】の芯出しをした後、ビス止め(M5程度)をします。

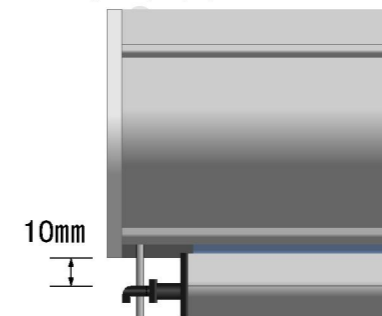


- ①ナットを締め、ワイヤーにテンションを加えます。ワイヤーを指で弾いて、少したわむ程度が適正です。テンションを加えすぎると、破損の恐れがあります。

【スクリーンのリミット設定】

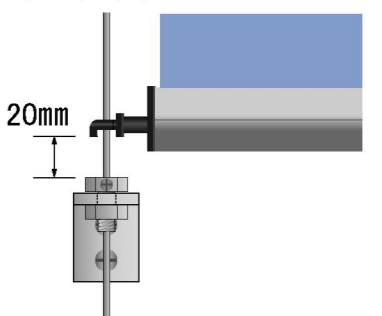


《上限位置》



ワイヤーガイドとケースの隙間は、10mm程度余裕を空けてください。

《下限位置》



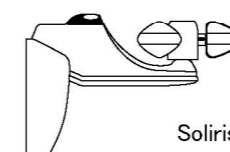
ワイヤーガイドと固定金具の隙間は、20mm程度余裕を空けてください。

電動式の駆動は、SOMFY社製・ALTUSモーターにて行います。(リミット調節方法に関しては、ALTUSモーター取扱説明書をご確認下さい)



《モーター仕様》 LT50 ALTUS 515R3

定格トルク (Nm)	回転数 50Hz 60Hz	消費電流 (A)	消費電力 (VA)	定格時間 (分)	重量 (Kg)
15	12 14	1.3	130	5	2.1



必要に応じて、オプションの『ALTUSモーター対応/無線風力・陽光センサー』を追加してご利用下さい。風による破損を、最小限に防ぐ事が出来ます。